



どっこいしょ

Dokkoisyo



2017.4.14 (金) 第28号

力を合わせること

～ 校訓 自主・協同・創造 より～

第39回 入学式→



4月10日(月)平成29年度第39回の入学式。男子61名、女子63名の新入生が入学し、担任の先生から一人一人の名前を呼ばれ、「はい」と返事ができました。校長として、新入生の緊張した顔つきと制服姿が何とも初々しく新鮮な時間を感じられました。

式辞の中で話したことですが、校訓の「自主・協同・創造」について、今日は「協同」について少し触れておきます。

“みんなちがって、みんないい”というフレーズをご存知の方も多いことでしょう。詩人 金子みすずさんの「私と小鳥と鈴と」という詩の一節です。一人一人に個性があるように考え方も表現の仕方も様々です。物事を誰かと一緒にやろうとすると、考えようとするときには、お互いの違いを認め、理解し合えるようにすり合わせていくことが必要になってきます。これはなかなか難しいことですが、それが協調であり、協力であり、協同につながります。

劇作家で演出家の平田オリザさんは、そのあたりの難しさを「みんなちがって、たいへんだ」と自著で述べられています。ご家庭でも、日々成長していく我が子の姿、考え方、表現の仕方など、日々その成長し変化していく内面に目を向け、支え、のびのびと育てていただければと思います。

協

協(力を合わせる意)と、十(集める意)とを合わせて、多くの人から力を一つに合わせる意味を表す。



▲4/11(火)の対面式。3学年が一堂に会しました。素晴らしい合唱!

お世話になった先生方より

… 4/12(水) 離任式を行いました。…

矢野 毅吉 教頭先生

江井島という地は初めてでしたが、良き生徒、地域、職員に恵まれ、幸せな3年間でした。“生徒に近い教頭”でいられたことが何よりの財産です。ありがとうございました。

佐藤 明和 先生

「つまかさね」。勉強にしても、部活にしてもこつこつと「つまかさねる」ことでしかいい結果は出ません。しっかりと「つまかさね」て下さい。

蔵本 昌代 先生

“継続は力なり” 苦手なこともあきらめず、こつこつと努力を続け、自分の夢を叶えて下さい。応援しています。

飯干 祐平 先生

生徒のみなさん、保護者の方々、一人一人の存在に支えられて楽しく充実した毎日を過ごすことができました。1年間という短い期間でしたが、本当にありがとうございました。

佐々木 直史 先生

鳥取の学校に赴任し、江井島中学校を去ったことで改めて皆さんの良いところやまだ頑張れるんじゃないかと思うところが見えてきたように思います。挨拶ができることを始め、相手を“思いやれる”こと、それが皆さんの強みです。人の役に立つことに喜びを感じられたり、相手の喜びを自分のことのように喜べたりする。そんな人がたくさんいました。

これからも他者や本からたくさんのことを学び、今ある力を伸ばし、今以上に魅力的な人になっていってください。

塚田 泰之 先生

たった1年でしたが、お世話になりました。皆さんの人生が幸多きものとなる事を心より祈っています。

高見 恵美子 用務員さん

6年間お世話になりました。江井島中では楽しことばかりで、皆さんの笑顔が大好きでした。1日1日を大切に、できる事を一生懸命頑張ってくださいねー。

